



2026年度 未来ファンドおうみ 助成先団体の手引き

この手引きは、年度末に実績報告書を提出するまで手元において、
参考としてご覧ください。



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2F

TEL : 077-524-8440

FAX : 077-524-8442

E-mail : office@ohmi-net.com

ホームページ : <https://www.ohmi-net.com/>

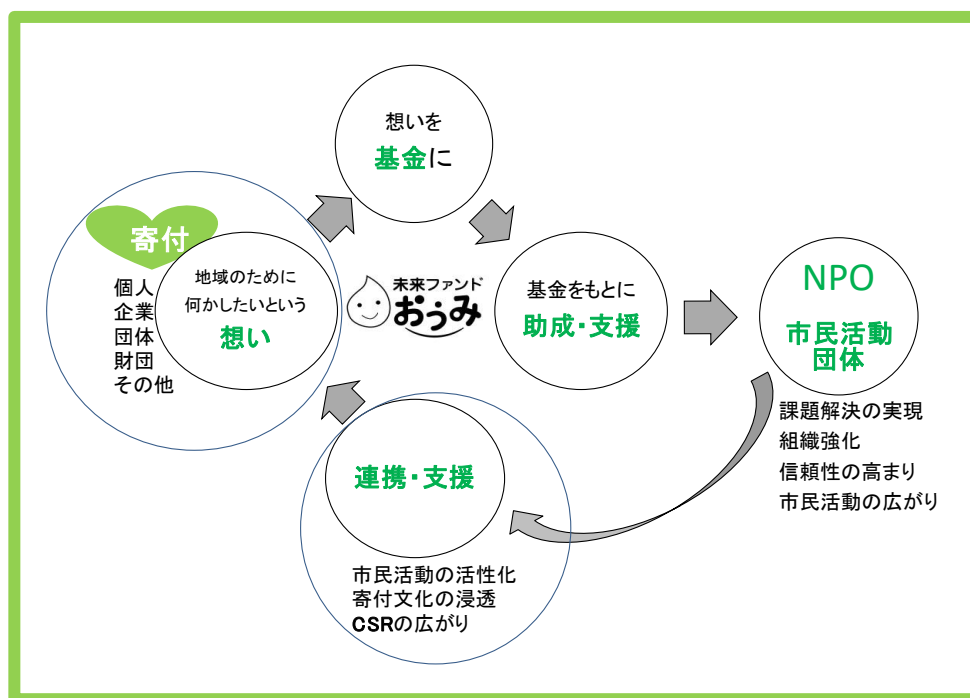
目 次

1. 未来ファンドおうみについて	1
2. 2026 年度採択事業と各基金の特徴	2
(1) 2026 年度採択事業	
(2) 各基金の特徴	3
3. 助成事業の年間スケジュール	4
4. 事業の進め方	5
(1) 活動予定表の送付について	
(2) 広報についての約束ごと	
(3) 事業内容・予算の変更について	
(4) 各種様式のダウンロード	
(5) その他留意事項	
5. 助成の対象となる経費について	6
6. 助成事業終了後の書類提出について	7
(1) 助成事業終了後の提出書類	
(2) 提出期日	
(3) 留意事項	
(4) 会計報告書の記入について	8
(5) 領収書またはレシートについて	9

1. 未来ファンドおうみについて

淡海ネットワークセンターは、1997年の設立以来、地域の個性や魅力を高め、暮らしをより良くするためのNPO・市民活動団体等による自主的な活動を支援してきました。その一環として2002年度に「おうみNPO活動基金」を設立し、2011年4月の公益財団法人への移行を契機に、その基金の趣旨を引き継ぎながら、さらに幅広い助成や充実した支援につなげるために「未来ファンドおうみ」を創設しました。これまでにおこなった助成は、346事業、のべ総額 1億5千400万円にのぼります。

「未来ファンドおうみ」は、“地域のために何かしたい”という想いを寄付としてお受けし、その想いを基金という形にし、その基金をもとに地域の課題解決に取り組むNPOや市民活動団体の活動を支援しています。



- ◆ 資金助成（お金による支援）
 - ◇ 助成金で支援します。
- ◆ 事業サポート（多面的な支援）
 - ◇ 当センターが実施する講座への案内
 - ◇ 他団体の活動紹介などの情報提供
 - ◇ 事業の実施、広報、組織運営、会計などの相談（無料）

2. 2026 年度採択事業と各基金の特徴

(1) 2026 年度採択事業一覧

基金名	団体名	事業名	助成額
びわこ市民活動応援基金 (地域活性化事業)	特定非営利活動法人あそびが寺	こどもとつくるこどもの居場所『放課後自習寺』	300,000
	チームエンパワーメント	「優しさの見える街プロジェクト」	300,000
びわこ市民活動応援基金 (若者応援事業)	滋賀県モバイル屋台プロジェクト	地域で新たなつながりを作ろう！モバイル屋台プロジェクト	200,000
	浅井湯田地域づくり協議会 フレンドリー部会	湯田っ子合宿	170,000
びわ湖の日基金	ぼてじゃこトラスト	30周年記念誌作成：淡水魚保全と会運営ノウハウの次世代への継承	300,000
	森と湖を未来へつなぐ会	琵琶湖水系のための石積みWSと地域の自然のアーカイブプロジェクト	300,000
	TANAKAMIこども環境クラブ	び・わ・こ まるごとプロジェクトpart2	220,000
積水化成品基金	特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会	元気な里山になるよう山の整備をして皆で楽しもう (里山整備)	200,000
笑顔あふれるコープしが 基金	特定非営利活動法人ふれ愛パーク	「輝け、今の自分！」創る事を自信に繋げる、みんなの居場所作り	100,000
	和っ家-WAcKA-	夜泣きカフェ～眠れない夜に、ひとりにしない居場所づくり～	100,000
	そっこん/ぞっこん/山内	高齢者の知恵と技を活用した持続可能なモノづくり事業	100,000
ナカザワNEOフレンドシップ 基金	もりやまこども日本語学習クラブ	日本語指導が必要な 外国にルーツを持つこども達の学習支援事業	100,000
げんさん食育NPO基金	一般社団法人このゆびとまれ	障がいのある方が「食」を通して社会力を培い、地域貢献できる環境づくり	100,000
湖国文学活動応援むらさき 基金	音楽劇団Ryu陣	オリジナルの音楽劇で地域のお話を知ってもらおう！	100,000
奥田工務店子育て応援基金	一般社団法人やさいごー	野菜をテーマにした移動式の子ども食堂	100,000
	社会福祉法人日野友愛会	誉の松こども食堂	100,000
	NPO法人CASN	食と学びのトワイライトステイ	100,000
	社会福祉法人グローながはま ながはまこども食堂	社会福祉法人グローながはまながはまこども食堂	100,000
	のうちえん×オムスピの会	稲作×四季×口育食育で子どもの生きる力を育む事業	100,000
滋環協こども環境基金	しがローカルSDGs研究会	小学生のブラごみ研究会「Rキッズ」推進事業	100,000

(2) 各基金の特徴

びわこ市民活動応援基金（企業を含む一般の方々からのご寄付）

株式会社関西みらい銀行(旧株式会社びわこ銀行)と社員の皆さまからの寄付金により2010年に設立されました。現在は基金の目的に賛同いただいた様々な企業、市民の方からのご寄付で成り立っています。

地域活性化事業：多くの人々に恩恵をもたらすような「公益性の高い事業」、あるいは地域のニーズに基づいた「地域の活性化につながる事業」に助成します。

若者応援事業：若者が主体(担い手)の運営による「地域の活性化・課題解決等につながる事業」に助成します。

びわ湖の日基金（企業を含む一般の方々からのご寄付）

びわ湖の日 30周年を記念して2011年に設立されました。基金の目的に賛同いただいた様々な企業、市民の方々のご寄付で成り立っています。琵琶湖と琵琶湖につながる河川や森林などの保全に関わる実践活動や調査活動、また「琵琶湖を活かす」取り組みなど、今後も継続することが期待できる取り組みに助成します。

積水化成品基金（積水化成品工業(株)様）

河川、森林や琵琶湖の生物多様性保全活動の支援を目的に、積水化成品工業株式会社からのご寄付により2012年に設立されました。市民による環境保全活動の充実をめざし、年間をとおして継続的におこなわれる活動に助成します。あわせて、積水化成品グループ社員も社会貢献活動としてボランティア参加できる活動を対象とします。

笑顔あふれるコープしが基金（生活協同組合コープしが様）

生活協同組合コープしがの創立20周年を記念して2013年に設立されました。生活協同組合コープしがの理念の実現をめざす活動を支援することを目的とし、子育て応援や、高齢者の見守りなど、身近な問題への取り組みによって、私たちのよりよい暮らしに繋がる活動に助成します。

ナカザワNEOフレンドシップ基金（(株)ナカザワ様）

株式会社ナカザワのアジア(ベトナム・中国・カンボジア)への海外店舗オープンを記念して、2014年に設立されました。多文化共生の地域づくりを目指した、「子ども・教育」、「日本語学習支援」、「意識啓発・地域コミュニティづくり」などの活動に助成します。

げんさん食育NPO基金（元三フード(株)様）

元三フード株式会社の創業110周年を記念して、2015年に設立されました。障がいのある子どもや若者たちが健やかに成長・自立していくことを、食育などを通じて地域とともに応援していく活動に助成します。

湖国文学活動応援むらさき基金（篤志家）

紫式部の大著「源氏物語」の研究と語り部活動にたずさわってこられた発案者のご家族からの寄付を受けて2015年に設立されました。文学を介してこころ豊かな地域づくりを目指している、「湖国に因む文学に関わる活動」や「湖国に根ざす文学的な活動」に助成します。

びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金（篤志家） ※今回申請なし

発案者が「近くの山の木で家をつくる運動」に関わってきたことに由来し、「湖国文学活動応援むらさき基金」の対となる基金として2017年に設立されました。びわ湖源流の森の木を主な対象にした「新しい産物や製品の創出」、「木を使う大事さの啓発」、「地元の木の新しい活用方法の創案」などの取り組みに助成します。

奥田工務店子育て応援基金（株奥田工務店様） ※2025年設立、新冠基金。

子どもの健やかな成長と笑顔を願い、2025年に設立されました。子ども食堂や居場所づくりなどを通して地域と共に、子どもたちの成長を育む取り組みや支援に助成します。

滋環協こども環境基金（滋賀県環境整備事業協同組合様） ※2025年に設立、新冠基金。

この基金は、子どもたちが琵琶湖やその周辺の環境に関心を持ち、自分たちの手で守り育てて欲しいという願いを込め2025年に設立されました。子どもが主体となって取り組む身近な環境保全活動（体験活動や湖岸や河岸等の清掃活動など）に助成します。

3. 助成事業の年間スケジュール

2026年

- 4月 助成期間の始まり
- 5月 概算払い請求手続き(希望団体のみ) →5月末に振込
★オリエンテーションへの参加(5/16)
- 9月 中間報告書の提出
- 9月～10月 **★中間報告・相談会への参加(9/12)**

2027年

- 1月 **実績報告書の提出** (※12月までに活動を終えた団体のみ)
→精算払い請求手続き→2月末に振込
- 3月 助成期間の終了
- 4月 **実績報告書の提出** (※1月に実績報告していない団体すべて)
→精算払い請求手続き→5月末に振込
- 4月末 成果報告書(発表会用資料)の提出
- 5月中旬 **★成果発表会への参加**

※ **★は、出席必須の行事です。**

※ 年に1～2回、現地・現場にお伺いし、活動の様子や進捗状況等についてヒアリングさせていただきます。

4. 事業の進め方

(1) 活動予定表の送付について

助成事業は4月1日からスタートとなっています。採択団体の皆さまは4月以降の予定が決まり次第、事務局に活動予定表(活動の日時や場所など)をご送付ください。(様式自由)

(2) 広報についての約束ごと

未来ファンドおうみの助成を受けて実施している事業のチラシ、ポスター、冊子等の印刷物、または情報誌や報告書などへの寄稿には、必ず「未来ファンドおうみロゴマーク」の表示と、未来ファンドおうみから助成を受けている旨の記載をお願いします。

<ロゴマーク>

下のロゴマークを使用します。

※ロゴマークデータは、淡海ネットワークセンターのホームページよりダウンロードできます。



<助成に関する表示例>

次のように、助成を受けている基金名を記載してください。

(例)

- この事業は、淡海ネットワークセンターの未来ファンドおうみ「〇〇基金」から助成を受けて実施しています。
- 未来ファンドおうみ「〇〇基金」助成事業

(3) 事業内容・予算の変更について

- ◇ 事業内容や予算を、提出した申請書から大きく変更する場合は、事前に事務局にご相談のうえ、「変更承認申請書」(所定の様式)をご提出ください。ただし、採択の趣旨とかけ離れた事業変更はできません。なお、事業実施の際に生じる多少の変更については、変更申請等は不要です。ただし、事前に事務局までご連絡ください。(予算額と精算額の差異が助成決定額の2割を越えた場合は変更が必要です。)
- ◇ 悪天候や感染症の影響など、不測の事態によるイベントの中止については、できるだけ代替日で実施してください。やむを得ず中止となった場合も、事前準備等にかかるやむを得ない費用については対象経費とします。事務局にご相談ください。

(4) 各種様式のダウンロード

- ◇ 助成を受けている間に必要な各種様式やロゴデータは、淡海ネットワークセンターのホームページよりダウンロードできます。ただし、タイミングにより、前の年度のままでのデータもありますので、必ず当年度用の様式であることを確認してからお使いください。

【ダウンロード先URL】

<https://ohmi-net.com/jyosei/download/>

HOME > 未来ファンドおうみ助成金 > 採択団体様専用ページ



(5) その他留意事項

- ◇ 担当者の連絡先・住所等の変更がある場合は、お早めに事務局までご連絡ください。
- ◇ 開催するイベント情報やチラシ等を、当センターのホームページや SNS 等に掲載いたします。掲載希望の方はお気軽にご連絡ください。
- ◇ 寄付をいただいた企業や市民の方に、淡海ネットワークセンターから助成事業の内容や進捗状況について情報を提供しています。助成団体においても、できるだけ多くの人に事業を知ってもらえるような情報発信に努めてください。
- ◇ 助成の趣旨、申請事業にもとづいた活動をおこなってください。事業の遂行ができない場合、または虚偽の申請であった場合は、助成金を返還していただきます。

5. 助成の対象となる経費について

- ◇ 助成の対象となる経費は、申請事業に直接、必要となる経費です。
- ◇ 事務所の賃借料や水道光熱費、その他の維持経費は対象になりません。
- ◇ すべての助成事業の助成割合は 10/10 です。(助成対象経費の 100%を助成)
- ◇ 「会計報告書」は、下記の科目を使用して記入してください。

(採択事業に直接係る経費)

科目	内容
旅費交通費	交通費、ガソリン代、駐車料など
通信運搬費	郵送料、物品の運搬費など
器具備品費	事業の実施に不可欠と認められる備品の購入代
消耗品費	事務用品、材料、資材の購入費
印刷製本費	資料・チラシ・ポスターなどの印刷費・コピー代
燃料費	機材を動かすための燃料費
保険料	活動のための保険料
委託費	専門家などへ委託する費用
諸謝金	講師・専門家・スタッフへの謝礼金
使用料・賃借料	会場・設備使用料・機材賃貸料
教育研修費	事業遂行に関わる研修費・書籍代など

- ◇ 助成の対象となる経費は、2026年4月1日から2027年3月31日までの支出が対象です。
- ◇ 飲食代や菓子代は、原則、助成対象外です。ただし、こども食堂やクッキング活動など、事業に要する食材は助成対象(消耗品費)となります。
- ◇ 諸謝金については、活動当日の指導・協力にかかるものが対象となります。打ち合わせや報告書作成などの事務にかかる謝金、有給スタッフへの謝金は助成対象外です。

6. 助成事業終了後の提出書類について

(1) 助成事業終了後の提出書類

- ① 実績報告書(事業報告書+会計報告書)※所定の様式
- ② 領収書またはレシート(コピー可)
- ③ 事業に係る広報等の印刷物
- ④ 事業の実施状況がわかる写真や資料

(2) 提出期日

下記①②のいずれかでご提出ください。

- ① 2027年1月20日(水)締切 (※12月までに活動を終えた団体のみ)
- ② 2027年4月15日(木)締切

※書類が不備の場合は、支払いが遅れることがありますので、早めのご提出をお願いします。

(3) 留意事項

- ◇ 事業報告書は、実施日、実施内容、スタッフ人数、参加者人数の記入が必要となるので、記録しておいてください。また、チラシや活動写真等も添付してください。
- ◇ 「会計報告書」については、領収書またはレシート(コピー可)の添付が必要です。活動スタート時点から準備をお願いします。

(4) 会計報告書の記入について

会計報告書
(2026年4月～2027年3月)

(単位:円)

科目	予算額		精算額	
	申請事業全体	未来ファンドおうみ 助成対象	申請事業全体	未来ファンドおうみ 助成対象
収入の部	①		②	③
未来ファンドおうみ助成金	100,000	100,000	100,000	100,000
〇〇売上高	30,000		20,000	
年会費	20,000		20,000	
収入合計	150,000	100,000	140,000	100,000
支出の部 (※2)				
旅費交通費	10,000	5,000	13,000	5,000
通信運搬費	10,000	5,000	12,000	5,000
印刷製本費	50,000	40,000	40,000	40,000
諸謝金	30,000	30,000	30,000	30,000
保険料	20,000	20,000	20,000	20,000
消耗品費	30,000	0	25,000	0
支出合計	150,000	100,000	140,000	100,000

①申請書(予算書)の金額を記入

②本事業で実際に発生した収入および支出を科目別に記入
(支出については領収書を添付)

③ ②のうち、助成対象とする金額を記入
(合計は助成金確定額)

- ◇ 会計報告書は、p.6 に記載の科目を使用してご記入ください。また、金額は、税込みで記載してください。
- ◇ 収入合計と支出合計が同額となっているか確認してください。
- ◇ 精算額が申請書の予算額と大きく異なる(と想定される)場合は、予算の「変更申請手続き」が必要になります。必ず事前に、事務局にご相談ください。また、助成金が余りそうときは必ず年度内に事務局にご相談ください。※予算額と精算額の差異が2割を超えるとき。
- ◇ 会計報告書の裏付けとなる領収書は、確認しやすいよう、また重ならないように、科目別に「領収書添付用紙」(センターのホームページよりダウンロード可)または A4 用紙に貼って下さい。(科目毎に、科目名と科目合計額をご記入ください。)
その際、領収書の科目合計額と、会計報告書(精算額)の「申請事業全体」の科目別金額が一致するようにして下さい。

- ◇ 申請事業の趣旨にそぐわないと判断される場合、あるいは不適切な支出が認められた場合は、助成金を返還していただくことがあります。

(5) 領収書またはレシートについて

- ◇ 事業に係る領収書またはレシート(コピー可)は、購買先から必ず受け取って、保存してください。
- ◇ 日付は、原則、2026年4月1日から2027年3月31日までのものが該当します。
※ただし、会場使用料や保険料などで前払いが必要な場合は、この限りではありません。
事務局までご相談ください。
- ◇ 領収書の宛名は、団体名にしておもらってください。
- ◇ 領収書に品目が書かれていない場合は、金額を裏付ける明細書を添付してください。
- ◇ スタッフ等の交通費(旅費交通費)や自宅コピー代(印刷製本費)などについては、以下をご参照ください。

【交通費フォーマット例】

・スタッフの交通費については、日付、目的、経路、料金などが書かれた自団体発行の支払証明や下記のようなフォーマットにて提出いただく形で構いません。

※受取人の印鑑をお忘れなきようお願いいたします。

※ガソリン代は1kmあたり15~20円を目安に、自団体で決めてください。

日付	手段	目的	経路	計	受取人	受領印
XXXX/11/3	公共交通	〇〇イベント	京阪(石場~膳所) 170 バス(〇〇~〇〇) 200	370	〇〇 〇〇	⑩
XXXX/12/5	車	〇〇イベント	事務所⇒あやめ浜 10km×15円/km=150	150	△△ △△	⑩

【自宅コピー代フォーマット例】

・自宅等でのコピー代については、チラシ名、コピー枚数などが書かれた以下のようなフォーマットにて提出いただく形で構いません。

※受取人の印鑑をお忘れなきようお願いいたします。

※コピー代は1枚5~10円を目安とし、自団体で決めてください。

日付	目的	枚数	計	受取人	受領印
XXXX /11/1	〇〇イベントのチラシ	100	¥1,000	〇〇 〇〇	⑩

【お問い合わせ先】

淡海ネットワークセンター(公益財団法人 淡海文化振興財団)

担当 辻ゆかり

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2F

TEL(077)524-8440 FAX(077)524-8442

Email:office@ohmi-net.com